

まどいの扉Ⅱ

佐世保市立中里中学校だより(第12号)

令和3年7月12日 文責 富野 毅

学校 HP



学校教育目標「学び合い 磨き合い 鍛え合う 生徒の育成」

宿泊を体験するということ

鮮明な写真は
ぜひ HP でご
覧ください。

7月8日(木)～9日(金)の1泊2日の日程で、1年生が野外宿泊体験学習を行いました。あいにくの雨模様のため、予定していた屋外での活動は変更しましたが、屋内でのレクリエーション、特にキャンドルサービスは、厳かさと楽しさの共存する充実した時間を過ごせたようでした。

同じ学年の仲間と宿泊を体験する行事は、「旅行・集団宿泊的行事」として、学習指導要領にも位置付けられており、「体験することによる高い教育価値があります。家庭と異なる環境で、仲間とともに宿泊することで、これまで当たり前と思っていた自分の習慣を見つめなおし、自立するきっかけとなります。また、普段気付かない仲間の良さを発見することで、よりよい人間関係を築くことにもつながります。

今朝の1年生のあいさつは、とてもすがすがしいものでした。これまでの学習と、宿泊体験で得られた成果が、生活にしっかりと息づいているように感じます。

明日(13日)から、3年生は2泊3日で熊本に修学旅行に出かけます。2泊という時間を仲間とともに過ごすことで、様々な学びを深めてほしいものです。

熊本地震から5年。その爪痕は、随所に残っています。私は特に、阿蘇大橋の落下に大学生が巻き込まれた事故は、同じ大学生を持つ親として、とても心を痛めたことを思い出します。本校の生徒の多くも4年後には、高校を卒業して進学や就職で家を離れ、自立した生活を送っていること思います。今回の修学旅行で学ぶことを心に留め、自分の健康・安全を意識した生き方を目指してほしいと期待しています。

この修学旅行を通して、3年生が学びとるのは、計り知れないものがあると考えています。ただ、健康・安全部も大切にしなければならない、という意味で、次のようなことも想定しています。

○感染状況次第では、見学地の変更もあります。

○旅行中、発熱があった場合は保護者の方に迎えに来ていただくこともあります。

○旅行中、感染拡大の危険性があると判断した場合は、途中で全員帰校することもあります。

いろいろな場面を想定しつつ、中学3年生でしか学び得ないものを保障したいと考えています。

たくましく育てる

今朝、通勤途中に3年生が明日からの修学旅行の荷物をもって登校する姿を見て、改めて家庭の教育の素晴らしさに感激しました。学校からかなり離れたところではありましたが、女子生徒が、大きな荷物と格闘しながら登校していました。最近、他の学校では、生徒の荷物が重かったり、少し雨が降っていても、車で送迎する場面をよく見ますが、本校生徒は、しっかりと徒步で通学してくれます。おそらく、ご家庭で背中を押されてたくましく育ててもらっていることだと思います。

これからICTを使った情報社会の中で言われる心身の影響の最たるもののが「心の不安」だと言われます。多くの情報があるから自分に自信がもてず、不安が過剰になり、精神的な疾患になりやすくなります。その際の最善の対策は、「運動」と「睡眠」です。特に「運動」は、スポーツだけでなく日常的な身体活動を含めて、心の不安に効果があると言われています。毎日歩いて登校する、家の手伝いを積極的にする、筋トレやジョギングをする、など、たくましく生活してほしいと思います。